



## 地震災害時の対策は

星川 久 議員

防災計画に則り対応している

町 長

**町民への啓蒙は。**  
町長 非常時の避難場所など、細かく記した防災マップなどを全戸に配布し、自助の意識づけをしてきた。  
**災害時の対策は。**  
町長 直ちに災害対策本部を組織し、情報の収集や自主防災組織等、消防団を中心として、高齢者や子供達の避難誘導やケガ人の状況等の情報交換を行っている。

### 町の防災



大石田にも活断層。油断はできない…。(県HPより)

住民の避難誘導の初動体制は、警察が積極的に行うとの申し入れをいただいている。災害時には、虹のプラザも避難場所として活用できるよう整備している。一般住宅の耐震化対策は、住宅リフォーム支援事業補助金の対象として奨励している。  
**近隣自治体との支援協定は。**  
町長 国道347号線沿いの加美町、大崎市、涌谷町と協定を結んでいる。



万一に備え、日ごろの訓練が大事！  
(豊田地区)



**学校の防災**  
小中学校の防災体制はどのようになっているか。  
教育長 町内小中学校はすべて耐震化されている。警察の講習、試験に合格した災害時の安全管理者を各校に1名ずつ配置している。

各小中学校ではどのような取り組みをしているか。  
教育長 防災計画を定め、年2回避難訓練を行っており、特に大石田小学校では、水害を想定した水防訓練等も一定の頻度で行っている。



車がすれ違えない狭い道路(里地区)

**流雪溝整備**  
全町の流雪溝整備を計画しているが、小菅・今宿・駒籠地区の流雪溝整備をどのように進めていくのか。  
町長 各地区ごとに、最上川からの取水必要水量とその根拠、取水方法、排水するまでのルート等、新庄河川事務所と協議をしている。  
**里地区の流雪溝整備は、富並川伊蔵堰土地改良区が管理する田沢大堤や小山ヶ沢の溜池を活用する計画はないのか。**  
町長 土地改良区に確認したところ、横山、田沢

**道路整備**  
冬期間里地区は、道路が狭く緊急車両の通行に支障をきたしている。道路整備を優先する考えは。  
町長 現場を見ながら道路整備についても考えていきたい。  
副町長 これまで計画は何度もあったが用地協力が得られず断念してきた経緯がある。



冬は停留所まで来るのも大変



## 流雪溝の全町整備早急に進めよ

関 幸悦 議員

関係機関と協議している

町 長

**冬期間の福祉バス見直し**  
福祉バスは高齢者の足となり、通院・買い物・あったまりランド等に利用されている。高齢者の安全を確保するため、冬期間の運用見直しの考えはないか。

町長 狭い道路での運行や、停留所の位置設定については限界がある。各区長からの要望を受け可能な限り応えていきたい。  
**予約型のデマンドタクシーの考えはないか。**  
町長 財政事情により、これまで同様スクールバスの対応でお願いしたい。